

鉄門ニュース 6号

現在、鉄門の石垣の補修工事を実施しています！

今月より、鉄門の復元工事に先立ち、門の両側の石垣の補修を行っています。

鉄門の石垣は、「文禄・慶長期(ぶんろく・けいちょうき)」という豊臣秀吉の時代から江戸時代初期にかけての時期に築られました。ほぼ自然の石を積み上げた「野面積み(のづらづみ)」、巨大な石を縦に配置した「鏡石(かがみいし)」という石積みの技術が見られるのが特徴です。



全景写真



補修前



補修後

鉄門には、このような巨大な石を縦に配置する「鏡石」が多く見られます。難しい技術を伴ううえに、この配石はとても不安定な石積みです。それでも、このような積み方をしたのはなぜでしょうか？

「鏡石」は、この石垣の見せ場のひとつです。「鏡石」の周囲の詰め石の補修は、特に「鏡石」の価値を損なわないように行うことが重要です。そのため、より慎重に検討してから実施しています。